

## 【神戸地区公民館】

事業名	自然体験教室（青少年育成協議会）
目的	平成26年8月に山陰海岸ジオパークの拡大エリアとして位置づけられ、世界ジオパークに認定された神戸の自然に触れ、故郷に愛着を深めることを目的とする。
事業概要	平成27年9月12日（土） 砂見川源流に位置する岩坪集落の地名の由来ともいえる滝つぼ（甌穴）から、分流する坂根川をせき止め出来た湿原（ターネン平）を探索した。講師に地質学者の星見清晴先生を迎え、地元有志の協力を得て開催した。子どもたちは、地質が永年の変動で甌穴や湿原、生植物の化石などが出来ることを学んだ。普段何気なく目にしている自然が、どの様に変化し出きてきたのかという講師の解り易い説明に感動し、自然に向かう眼差しが変わったように感じた。
工夫した点 成果	昨年度、特色ある公民館活動事業で成人向けの講座を開催し好評であった。今年度は故郷のすばらしさを次世代に伝えたいと児童を対象とした。滝つぼ（甌穴）の地点からターネン平（元湿原）までの区間を約1時間散策し、植物や昆虫なども観察しながら森林浴を楽しんだ。
所見 アドバイス等	児童を対象とした取り組みのため、少し難しい内容もあった。ジオパークに付いて、さらに興味が湧くような工夫をしたい。



滝つぼ（甌穴）を見る



ターネン平が臨める炭焼き小屋にて